

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	広報活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	01	広報活動事業

実施計画整理番号	
601010101	
総合戦略 整理番号	32303

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市民へ市政運営方針や各施策の考え方・内容・効果などの行政情報を提供することで、市としての説明責任を果たし、市民と行政が互いの理解と信頼を深めることを目的とする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 広報もばらについては、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを心がけ、新鮮かつタイムリーな情報提供をするため、月2回発行する。迅速に伝達することを目的として、新聞折込で配布する。 また、市のさらなるPRのため、イベントや記者会見時に使用するインタビューボードを購入する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・市民により興味を持ってもらえるような紙面の作成。 ・紙媒体以外の発信方法の検討。	毎月1日・15日の2回、35,500部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	20,912	20,912	20,698	20,896	20,888	20,551	22,510	22,510	21,327	22,598	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	60	60	60	60	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	20,912	20,912	20,698	20,896	20,888	20,551	22,450	22,450	21,267	22,538	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	広報もばらの発行	22,419	22,419	21,239	毎月1日・15日の2回、5/1～7/15号35,500部、8/1～11/1号35,000部、11/15～4/15号33,500部を発行。また令和元年10月25日の大雨災害の対応として臨時号(11/15、12/1)を35,000部ずつを発行した。今後も市民に必要な情報を掲載するとともに、市民ニーズを踏まえた情報の発信に努める。
②	広報用備品の購入	91	91	88	広報用備品を購入した。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		22,510	22,510	21,327	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

広報発行については、毎月1日・15日の2回、5/1～7/15号35,500部、8/1～11/1号35,000部、11/15～4/15号33,500部を発行。年間総ページ数324ページ。また令和元年10月25日の大雨災害の対応として臨時号(11/15、12/1)を35,000部ずつを発行した。新聞折込については、29,840部(令和2年1月1日号)。新聞購読数により変動あり。

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601010101
6	01	01	01	広報活動事業	2	01	04	01	広報活動事業	

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・広報発行回数: 24回 ・広報発行部数: 5/1～7/15号35,500部、8/1～11/1号35,000部、11/15～4/15号33,500部。臨時号(11/15、12/1)35,000部ずつ。 ・年間総ページ数: 324ページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・市公式ウェブサイトアクセス件数: 2,924,567件/年(243,714件/月) ・マチイロ登録者数: 1,339人

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	A:有効である	インターネットが活用できない方も依然多く、広報紙などの紙媒体で行政情報を提供することは有効である。	A:効率的である	内容を更に充実させ、市政により興味を持って貰えるような情報を発信するため、ページ数の拡大、カラー印刷を検討する必要がある。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	広報・ウェブサイトでの公表	A:実現している	団体・グループの会員募集・イベント案内記事の掲載。市民紹介など。	C:実現の余地がない	公表前の内部情報管理等の観点から、そぐわないと考える。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	毎月1日・15日の2回、5/1～7/15号35,500部、8/1～11/1号35,000部、11/15～4/15号33,500部を発行。行政情報を迅速かつ的確に発信し、市民の利便性の向上を図るとともに行政運営の理解と市政参加への促進を図った。また令和元年10月25日の大雨災害の対応として臨時号(11/15、12/1)を35,000部ずつを発行した。新聞未購読世帯に対しては、郵送および公共施設への設置、スマートフォンアプリによる配信などにより対応しているが、年々増加している。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	計画的な広報の発行及び臨時号の発行は、迅速かつ的確な行政情報の発信に寄与したと認められる。新聞未購読世帯に対する対応の一つでもある、ウェブサイトアクセス件数及びマチイロ登録者数の更なる増加を図るとともに、市民がより興味を持つ紙面の作成に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・広報発行回数 ・広報発行部数 ・年間総ページ数 	<ul style="list-style-type: none"> ・市公式ウェブサイトアクセス件数 ・マチイロ登録者数

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・市民により興味を持ってもらえるような紙面の作成。 ・紙媒体以外の発信方法の検討。 	毎月1日・15日の2回、33,500部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	ウェブサイト運営事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	03	ウェブサイト運営事業

実施計画整理番号	
601010102	
総合戦略 整理番号	32303

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
市の情報を必要としている方に、ウェブサイトによる行政情報の提供を行うことで、市のPRを図り、多くの方に関心をもってもらう。	各所属にホームページ制作委員を設け、それぞれの所属における業務案内や情報発信を依頼することで、広報紙ではできないタイムリーな情報を発信する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
ウェブサイト制作研修会を開催する。昨年度までの初級者向けに加え中級者向け研修を行い、さらなる情報発信力の向上に努める。	ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,052	2,052	2,052	2,052	2,052	2,048	2,281	2,281	2,281	2,106	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	1,440	1,440	1,660	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,200	1,440	0	0
	一般財源	千円	612	612	392	612	612	608	841	841	1,081	666	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ウェブサイトの運営管理	2,281	2,281	2,281	アクセス数2,924,567件/年(243,714件/月)
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,281	2,281	2,281	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
ウェブサイトによる行政情報の発信を行い、市民サービスの向上を図った。アクセス数2,924,567件/年(243,714件/月)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	ウェブサイト運営事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	03	ウェブサイト運営事業

整理番号
601010102

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・ウェブサイト公開ページ数: 3,009ページ ・更新頻度: 2,408ページ/年(201ページ/月)	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 ウェブサイトアクセス数2,924,567件/年(243,714件/月)
---	---

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	A:有効である	最新の情報を迅速に提供することができた。SNSとの連携強化を図るため、システムのバージョンアップが必要である。	A:効率的である	最新の情報を迅速に提供することができた。SNSとの連携強化を図るため、システムのバージョンアップが必要である。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	広報・ウェブサイトでの公表。	A:実現している	お問い合わせフォームの設置。	C:実現の余地がない	システム管理が主体であり、そぐわないと考える。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	ウェブサイトでの情報発信に加え、Facebookなどの情報発信手段を利用し発信力の強化に努めた。更なるSNSとの連携強化を図るため、システムのバージョンアップが必要である。また、インターネット等情報端末を活用できない方もいるので、広報などできめ細かく情報提供を行う必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	ウェブサイト公開ページ数及び更新頻度の増加は、ウェブサイトアクセス件数の増加に寄与し、情報発信力の向上が図られていると認められるものである。引き続き、様々な情報発信手段の活用し情報発信力の強化に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 ・ウェブサイト公開ページ数 ・更新頻度	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 ウェブサイトアクセス数
---	---

令和2年度における具体的な目標 ウェブサイト制作研修会を開催する。初級者向けに加え中級者向け研修を行い、さらなる情報発信力の向上に努める。	令和2年度における事務事業スケジュール ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。
---	--

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	01	広聴活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	02	広聴活動事業

実施計画整理番号	
601020101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
	市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させることを目的とする。
	「市長と話し合う会」、「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」の開催。「市長への手紙」の運用。
	令和元年度の具体的な目標
	令和元年度スケジュール
	・昨年度に見直した市長と話し合う会の開催方法を検証し、新規参加者の確保、会議の活性化を図る。
	・「市長への手紙」:各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」:11月19日(日)、市役所市民室で開催 ・「市民ふれあいミーティング」:随時受付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	94	94	62	94	94	52	80	80	11	80	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	94	94	62	94	94	52	80	80	11	80	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市長への手紙の運用	11	11	11	142件(うち電子メール79件)。今後も幅広く意見・提言を聴取していく。
②	各種広聴事業の開催	69	69	0	市長と話し合う会は令和元年10月25日の大雨災害により開催中止
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		80	80	11	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・「市長への手紙」:142件(うち電子メール79件)。回答数は72件。 ・「市長と話し合う会」:令和元年10月25日の大雨により開催中止 ・「市民ふれあいミーティング」:8月21日開催。テーマ「子育てするなら茂原市で」参加者5人

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	01	広聴活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	02	広聴活動事業

整理番号
601020101

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 用紙設置枚数300枚 ・「市民ふれあいミーティング」: 開催回数1回 ・「市長と話し合う会」: 令和元年10月25日の大雨災害により開催中止 		<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 意見・提言数142件、回答数72件 ・「市民ふれあいミーティング」: 参加者5人 ・「市長と話し合う会」: 令和元年10月25日の大雨災害により開催中止 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A: 妥当である 市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させる必要がある。		A: 有効である さまざまな方法で市民からの意見・提言を聴取する機会を設けた。		A: 効率的である 将来的にもコストの増加・増大の要因はなく、継続することができる。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A: 実現している 広報・ウェブサイトでの公表		A: 実現している 市長への手紙の運用、市民ふれあいミーティングの実施。市長と話し合う会は令和元年10月25日の大雨災害により開催中止		A: 実現している 市長と話し合う会を茂原市自治会長連合会と共催で行っている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		「市長への手紙」の運用、「ふれあいミーティング」を開催するなどさまざまな方法で、市民から幅広く意見・提言を聴取する機会を設け、市政に反映することができた。 「市長と話し合う会」は令和元年10月25日の大雨災害により開催中止			
	企画政策課での評価とその理由					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		幅広く意見・提言を聴取する機会を設けており、一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、意見を聴取する機会・方法の検討を行うとともに、開催方法の研究を行い、より市民の意見等を市政に反映させるよう努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 用紙設置枚数 ・「市長と話し合う会」: 開催回数 ・「市民ふれあいミーティング」: 広報掲載回数 		<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 意見・提言数、回答数 ・「市長と話し合う会」: 参加者数、質問者数 ・「市民ふれあいミーティング」: 開催回数及び参加者数 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
・新型コロナウイルス感染症対策に対応した市長と話し合う会の開催方法を検討し、参加者の安全の確保を図るとともに、会議の活性化を図る。		<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」: 各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」: 11月22日(日)、市役所市民室で開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・「市民ふれあいミーティング」: 随時受付 		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	01	市民相談事業

実施計画整理番号	
601020201	
総合戦略 整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
多種・多様化する市民の相談等に迅速かつ適切に対処できるよう努め、関係部署・機関との連携により相談業務の充実を図る。	市民相談・無料法律相談・人権相談・行政相談・交通事故相談を実施する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談いただく。	市民相談・結婚相談 ・無料法律相談 ・人権・行政相談 ・交通事故相談 ・出会いの広場 平日執務時間内 毎月第2木・第4火曜日 毎月第2火・第4木曜日 5～3月第4金曜日 8・12月

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,160	1,160	1,144	1,160	1,151	1,132	1,180	1,180	1,156	1,167	0	0
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,160	1,160	1,144	1,160	1,151	1,132	1,180	1,180	1,156	1,167	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市民相談	27	27	27	市民相談員が市民の日常生活での悩みごとや心配事に対し、聞き取りを行い、解決に向けた助言を行った。今後も継続する。
②	無料法律相談	788	788	787	弁護士相談により適切に対応できた。多様化する相談における専門的対応ニーズに応えるために今後も継続が必要。
③	人権相談	263	263	262	人権擁護委員が専門的見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。
④	行政相談	61	61	61	行政相談委員が専門的見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。
⑤	交通事故相談	1	1	1	市民に専門的な相談を受ける機会を与えられ、今後も県へ継続を要望する。
⑥	婚活イベントの開催	40	40	18	結婚を希望する方に出会いの機会を提供した。結婚支援については、民間の団体と連携し、支援していく。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,180	1,180	1,156	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・無料法律相談は、日常生活にわたる法律問題について弁護士が対応(月2回予約制)
- ・人権相談は、いじめや差別、いやがらせなどの人権に関する問題について人権擁護委員が対応(月2回)
- ・行政相談は、官公庁が行う業務の苦情、要望、問い合わせなどについて、行政相談委員が対応(月2回)
- ・交通事故相談は、損害賠償の仕方や算定額などについて、県交通事故相談所の専門の相談員が対応(年11回)
- ・出会いの広場は、結婚を希望するする男女の出会いのきっかけづくりを目的として開催(年1回)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	01	市民相談事業

整理番号
601020201

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 24日 ・人権・行政相談 22日 ・交通事故相談 11日 	R1相談受付件数 <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 507件 ・人権相談 2件 ・交通事故相談 12件 ・行政相談 6件 ・法律相談 170件 ・結婚相談 6件 						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:妥当である 市が実施することで市民は安心して相談できる。 </td> <td> A:有効である 適切な助言を行い、問題解決に繋げている。 </td> <td> A:効率的である 各種相談業務は、専門的な相談員が配備されている。 </td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	A:妥当である 市が実施することで市民は安心して相談できる。	A:有効である 適切な助言を行い、問題解決に繋げている。	A:効率的である 各種相談業務は、専門的な相談員が配備されている。
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由					
A:妥当である 市が実施することで市民は安心して相談できる。	A:有効である 適切な助言を行い、問題解決に繋げている。	A:効率的である 各種相談業務は、専門的な相談員が配備されている。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:実現している 広報、ウェブサイト等で相談業務を紹介している。 </td> <td> A:実現している 市民ニーズを把握しながら、実施している。 </td> <td> C:実現の余地がない 相談業務であり、専門員を活用している。 </td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	A:実現している 広報、ウェブサイト等で相談業務を紹介している。	A:実現している 市民ニーズを把握しながら、実施している。	C:実現の余地がない 相談業務であり、専門員を活用している。
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由					
A:実現している 広報、ウェブサイト等で相談業務を紹介している。	A:実現している 市民ニーズを把握しながら、実施している。	C:実現の余地がない 相談業務であり、専門員を活用している。					
所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 多種多様化する市民の相談に専門の相談員や弁護士を活用し、細やかな的確な相談事業を実施しており、相談者からも高い評価を得ている。今後も、多種多様な市民相談に対応するため、窓口の充実に努める。							
企画政策課での評価とその理由							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 各種相談業務にて適切な対応を実施し、十分な成果を挙げたものと認められる。引き続き、相談窓口の充実に図るとともに市民ニーズの把握に努めていただきたい。							
政策調整会議での評価とその理由							
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>							
庁議における方針							
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>							

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 24日 ・人権・行政相談 22日 ・交通事故相談 11日 ・相談業務周知件数 12回 	相談受付件数 <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 400件 ・人権相談 2件 ・交通事故相談 10件 ・行政相談 2件 ・法律相談 170件 ・結婚相談 5件
令和2年度における具体的な目標	
市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談いただく。	
令和2年度における事務事業スケジュール	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 毎月第2木・第4火曜日 ・人権・行政相談 毎月第2火・第4木曜日 ・交通事故相談 5～3月第4金曜日 	

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	03	情報化推進事業

実施計画整理番号	
602010201	
総合戦略整理番号	12202

PLAN(計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	担当課ごとに整備されている地図情報を一元管理することで庁内における有効利用を促進する。 市が保有する地図情報を住民に公開することで、平時及び災害時に安全に関する地図情報の共有を図る。	既存の地図情報システムを一元化し、紙で管理している地図情報の電子化に積極的に取り組む。 また、公開できる地図情報を増やし、双方向のやり取りが可能なシステムを導入する。
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・事業の遂行	操作研修会の開催(7月) モバリンレポート及びわが街ガイドのPR(通年) 活用部会の開催(8月22日)	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,987	3,987	3,985	3,987	4,461	4,461	4,245	4,245	4,243	4,323	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,987	3,987	3,985	3,987	4,461	4,461	4,245	4,245	4,243	4,323	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	システム保守・運用費	4,245	4,245	4,243	操作研修会の開催、わが街ガイドの公開(過去・最新の浸水履歴の公開)、モバリンレポートの運用
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		4,245	4,245	4,243	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
操作研修会の実施(R1年5月)、活用部会の開催(R1年8月)、台風15号及び10月25日大雨による洪水時に統合型GISを活用

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	03	情報化推進事業

整理番号
602010201

<p>令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況</p> <p>操作研修会の実施(R1年5月)、活用部会の開催(R1年8月)、台風15号の停電及び10月25日大雨による洪水時に統合型GISを活用。</p>	<p>令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況</p> <p>操作研修会を開催(参加者25名)、活用部会では地番図の活用について研究、統合型GISの活用として台風15号の停電家屋及び洪水時の罹災調査歴を地図上で可視化した。浸水履歴については、わが街ガイドに公開予定である。</p>	
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由
<p>B:ほぼ妥当である</p> <p>災害時の情報(罹災調査履歴等)を庁内で有効活用できた。浸水履歴については、今後わが街ガイドでも公開予定。</p>	<p>A:有効である</p> <p>庁内での地図情報共有と、モバリンレポートによる市民から課題定義により課題を解決している。</p>	<p>A:効率的である</p> <p>防災部門、都市建設部門及び税部門で横断的に情報共有を達成できた。</p>
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由
<p>B:実現に向けて取り組んでいる</p> <p>防災部門、都市建設部門及び税部門で横断的に情報共有を達成できた。また、わが街ガイドにより情報共有をしている。</p>	<p>B:実現に向けて取り組んでいる</p> <p>地図を活用しない業務部門についても、今後活用幅を広げようと考えている。</p>	<p>B:実現に向けて取り組んでいる</p> <p>浸水履歴等を市民と共有することで平時での防災意識向上を図る必要がある。また、モバリンレポートで市民から投稿してもらうことで課題解決の共有を図っている。</p>
所管による評価とその理由、課題・問題点		
<p>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</p> <p>災害時での地図情報共有が達成できた。また、市民投稿システムであるモバリンレポートについてはR1年6月から投稿数が40件である(運用開始日H31年2月13日~5月末は26件)。今後、投稿数が増加するようPRに努めていく。わが街ガイドでは、新しい水害履歴を公開し、平時での防災意識向上に努める必要がある。</p>		
企画政策課での評価とその理由		
<p>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</p> <p>操作研修会の実施及び活用部会の開催により、庁内における有効活用をより促進できたと認められる。PR強化に努めることで、今後も市民との更なる協働に取り組むこととされたい。</p>		
政策調整会議での評価とその理由		
庁議における方針		

<p>令和2年度活動指標(アウトプット)の設定</p> <p>モバリンレポート及びわが街ガイドのPR 地図を活用できていない業務部門での活用促進</p>	<p>令和2年度成果指標(アウトカム)の設定</p> <p>モバリンレポートの投稿数 わが街ガイドの新規レイヤの公開</p>
<p>令和2年度における具体的な目標</p> <p>複数の業務部門との情報共有により業務の効率化を図る</p>	<p>令和2年度における事務事業スケジュール</p> <p>操作研修会の実施 モバリンレポート及びわが街ガイドのPR</p>

CHECK (評価)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	コンビニ交付サービス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	03	01	06	コンビニ交付サービス導入事業

実施計画整理番号	
602010202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
P L A N (計 画) マイナンバーカードを利用して、住民票、印鑑登録証明書、所得課税証明書を全国のコンビニエンスストア等で取得できる「コンビニ交付サービス事業」を令和元年7月に開始する。	コンビニ交付サービスの導入準備及び実施。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
7月1日から全国のコンビニエンスストア等において、マイナンバーカードを利用し、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書を取得できるようにする。	5月下旬 システム試験Ⅰ(DSK)、6月上旬 試験Ⅱ(東京・評価センター)、6月下旬実店舗試験(市内4店舗)、7月1日サービス開始。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	3,456	0	4,122	7,578	7,407	5,380	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	3,456	0	4,122	7,578	7,407	5,380	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	システム保守管理	1,772	5,228	5,227	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
②	J-LIS負担金	2,050	2,050	2,009	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
③	コンビニ委託料	189	189	102	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
④	運用試験時旅費	32	32	16	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
⑤	実店舗証明書手数料	30	30	10	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
⑥	コンビニ交付サービスの普及	49	49	43	マイナンバーカードの取得促進とあわせ、今後も継続する。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		4,122	7,578	7,407	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・委託業者(株式会社ディー・エス・ケイ)との住基システムの改修と証明発行サーバの構築を実施。 ・令和元年7月1日からコンビニ交付サービスを開始。 ・サービス開始後、コンビニ交付サービスの周知、及びマイナンバーカードの取得促進を実施。

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	602010202
6	02	01	02	コンビニ交付サービス事業	2	03	01	06	コンビニ交付サービス導入事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	・広報、ウェブサイト等による、マイナンバーカード及びコンビニ交付サービスについての周知件数 12件					証明書発行件数 ・住民票 452枚 ・印鑑登録証明書374枚 ・市県民税所得課税証明書29枚				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 人口減少、少子高齢化社会に対応した民間活用やICTを利用した、人に頼らない仕組み作りが必要とされている。			A:有効である 全国のコンビニエンスストアで夜間、休日でも証明書を発行することができるようになり、住民サービスの向上を図れた。			A:効率的である 証明書交付のために来庁することなく、窓口混雑の緩和に寄与したと思われる。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している ウェブサイト、広報もはら、自治会回覧による周知、PR用ポケットティッシュの配付を実施した。市内コンビニエンスストアへPRポスターの掲示依頼。			C:実現の余地がない 市民等の参加事業ではない。			C:実現の余地がない 市民等の協働事業ではない。			
所管による評価とその理由、課題・問題点										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) コンビニでの証明書取得を増やすため、コンビニ交付サービスの周知と、コンビニ交付に必要なマイナンバーカードの取得促進を図る。										
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 計画どおり事業が進展しており、住民サービスの向上に一定の成果が挙げられていると認められる。引き続き、市民へマイナンバーカード取得及びコンビニ交付サービスの周知を図ることで利用率向上につなげ、ひいては窓口混雑を緩和し市民の利便性向上に努めていただきたい。										
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・マイナンバーカードの交付率 ・広報、ウェブサイト等による、マイナンバーカード及びコンビニ交付サービスについての周知件数					証明書等のコンビニ交付の発行件数及び利用率				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
・コンビニ交付サービスの安定的な提供と、質の向上を図る。					・7月 ~ 9月 システム移行に伴う設定確認・試験1(茂原市・DSK) ・10月~11月 試験2(茂原市) ・11月~12月 試験3(東京評価センター)					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	03	コミュニティ活動支援事業

実施計画整理番号	
603010101	
総合戦略整理番号	22201

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 「魅力あるまち」「住んでいたいまち」を形成するために重要な役割を果たす自治会等の地域コミュニティにおいて、活動が活発に行われ、地域に住む市民が積極的に参加するようにする。	活動内容(目的を達成するために何をを行うか) コミュニティ活動の育成や地域コミュニティ施設の整備充実を図るための各種支援策を講じる。
令和元年度の具体的な目標 ・自治会長連合会学習会 3回 ・自治会長連合会視察研修 4回 ・自治会長連合会講演会 1回 ・集会所の整備件数 5件	令和元年度スケジュール 7月 長生都市連合自治会連絡会負担金 7月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	15,313	17,813	17,355	15,171	18,301	18,017	17,440	17,440	17,375	17,103	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	2,500	0	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	0	0
	一般財源	千円	15,313	17,813	14,855	15,171	15,801	15,517	14,940	14,940	14,875	14,603	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	コミュニティ団体の活動支援	14,274	14,042	14,042	補助金の交付等、様々な支援に努め、活動の活性化を促進することができた。今後も継続する。
②	コミュニティ備品の整備	40	0	0	令和元年度はコミュニティ備品の修繕を行わなかった。今後も保有備品の適正な維持管理に努める。
③	集会所の整備	626	898	833	集会所9か所の修繕に対し、補助金を交付した。今後も継続し、自治会等の活動拠点の整備促進に努める。
④	コミュニティ助成	2,500	2,500	2,500	自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、1自治会において備品が整備された。今後も各自治会への周知を図る。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		17,440	17,440	17,375	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・団体への補助等(茂原市自治会長連合会への活動費補助金交付、長生都市連合自治会連絡会への負担金)
- ・文書配布等の事務委託(自治会長委託料の交付)
- ・集会所整備補助(9自治会の集会所修繕に対する補助金交付)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	603010101
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業	2	01	13	03	コミュニティ活動支援事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	補助金の交付額 4,917,600円(うち自治会長連合会補助金1,555,600円、集会所整備補助金833,000円、コミュニティ助成事業補助金2,500,000円) 補助金の交付件数 11件(自治会長連合会補助金1件、集会所整備補助金9件、コミュニティ助成事業補助金1件)					・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会出席人数215名(うち委任状88名) ・コミュニティ備品の数、利用状況 22種類・延べ1,956点 ・延べ貸出団体数 613団体 ・集会所の整備件数 修繕9件				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である コミュニティ活動の充実については、市が関与すべき事業であり、妥当性はある。		A:有効である コミュニティ活動の育成と拠点整備等の支援に努めることで、より良いまちづくりという成果が得られることが期待できる。			A:効率的である 事務事業の執行は効率的に実施しており、継続して支援していく必要がある。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長と情報を共有しながら、施策を推進している。		A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長の参加を得ながら、施策を推進している。			A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長と目的を共有し、適切に役割を分担している。				
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		人々が地域で生活を営む上で、日常生活をより豊かで快適に安心して暮らしていくためには、コミュニティ活動の充実は欠かせないものであることから、自治会長連合会と連携しながら、各種支援等を行い、活性化を図った。自治会の加入率低下が全国的に問題となっており、本市でも大きな課題となっていることから、今後も自治会長連合会との連携を深め、コミュニティ活動を支援していく必要がある。							
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		前年度と比較すると社会的要因の影響はあるものの、各種支援事業はコミュニティ活動の充実及び活性化に寄与していると認めることができる。引き続き、コミュニティへの理解や活動の重要性を周知するとともに、地域住民の積極的な参加の促進を図るものとする。							
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	コミュニティ活動支援件数、補助金額 ・自治会長連合会 1件1,556千円 ・集会所整備 5件194千円 ・コミュニティ備品の整備 22種類 ・コミュニティ助成事業 1件2,000千円					・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会出席人数 ・コミュニティ備品の数、利用状況 ・集会所の整備件数				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
・自治会長連合会学習会 3回 ・自治会長連合会視察研修 4回 ・自治会長連合会講演会 1回 ・集会所の整備件数 5件					7月 長生郡市連合自治会連絡会負担金 7月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業

実施計画整理番号	
604010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>男女がお互いを尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分発揮することができる男女共同参画社会づくりを推進する。</p>
	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画をテーマとした講演会やフォーラム等を行い、市民意識の醸成を図る 適正な事業執行のため、推進協議会による事業評価を実施する 社会情勢に合った第4次計画とするため、推進協議会により策定協議を行う
	<p>令和元年度の具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施する。 男女共同参画に関する市の取り組みを市民に情報提供し、理解を深める。 各関係機関(県、商工会議所、市内企業・団体、市民)と連携し、各分野における男女共同参画推進に努める。 あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第3次計画事業の推進に努める。
	<p>令和元年度スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会へ、100名以上の参加を目指す。 市と市民との協働により、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	128	128	128	128	232	168	163	163	163	691	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	128	128	128	128	232	168	163	163	163	691	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会の運営	60	60	60	男女共同参画計画(3次)の推進を図るため、事業について評価を実施し、提言書を市に提出した。今後も継続して実施する。
②	茂原市ハートフルフェスタの開催	103	93	93	ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会及び男女共同参画に関して、自由に意見交換できる場としてコスモスサロンを開催し、意識啓発を図った。今後も継続して実施する。
③	男女共同参画計画(第4次)策定	0	10	10	男女共同参画計画(第4次)策定のため、市民意識調査を実施した。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		163	163	163	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 第12回茂原市ハートフルフェスタでは、「共助でつくる災害に強い地域づくり」と題して講演会を開催し、76名が参加した。 第13回茂原市ハートフルフェスタでは、「現代に活かすブッダの知恵～七不変法と人権～」と題して講演会を開催し、195名が参加した。 コスモスサロン特別講座として、「40年ぶり民法大改正を知る」と題して講座を開催し、71名が参加した。 計画の推進については、推進協議会により24事業について外部評価を行い、事業評価報告書としてまとめ、市長に提出、また担当課に結果を報告した。

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	604010101
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業	2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> 講演会実施回数 3回 情報提供の回数 3回 男女共同参画計画の推進、事業評価の実施 男女共同参画推進委員会(庁内)及び男女共同参画推進協議会(第三者)で事業評価を実施 					<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画について正しく理解する市民を増やす(講演会等参加延べ人数 342人) 計画事業評価Aの事業 重点評価23事業のうち8事業 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である 男女共同参画は若年層を中心に進んでいるが、社会全体としては不十分などがある。更なる推進に向けて市が率先して取り組む必要がある。		B:やや有効である 一定の理解は深まっているものの、取り組みが遅れている分野について、より幅広い周知が必要。			C:あまり効率的ではない 男女共同参画の推進には意識改革が必要であり、すぐに結果が出るものではなく、根気強く取り組む必要がある。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している 市公式ウェブサイト、自治会回覧、広報誌等で情報提供している。		A:実現している 講演会に市民意見を反映できるように市民のボランティアが参加。計画の事業評価に協力する協議会の委員には、市民が参加している。			A:実現している 講演会実施にあたっては市民が企画・運営を担当。計画の事業評価にあたり、協議会の意見を取り入れ、より市民目線の評価及び提言に努めた。				
所管による評価とその理由、課題・問題点										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 公募の市民で構成されるハートフルフェスタ実行委員会の企画・運営による、男女共同参画の正しい理解と啓発のための「ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)」及び男女共同参画に関する意見交換の場としての「コスモスサロン」を開催し、市民と行政の協働による効果的な取り組みとなった。今後も引き続き、あらゆる分野における男女共同参画の正しい理解と意識啓発のため、市と市民及び関係団体が連携・協力して啓発・推進に努めていく。										
企画政策課での評価とその理由										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 講演会参加人数の増加等を見ると、市民の男女共同参画に対する意識醸成が図られていると認められる。より一層の周知、啓発により、あらゆる分野での男女共同参画の正しい理解と意識啓発につながるよう努めるものとする。										
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> 講演会実施回数 1回以上 情報提供の回数 年1回以上 男女共同参画計画の事業評価の実施 					<ul style="list-style-type: none"> 講演会等参加延べ人数 男女共同参画計画において事業評価Aの割合 				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を開催し、100名以上の参加を目指す。また、男女共同参画に関する市の取り組みを市民に情報提供し、理解を深める。 あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第3次計画事業の推進に努める。 社会情勢に合った男女共同参画計画(第4次)を策定する。 					<ul style="list-style-type: none"> 市と市民との協働により、ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施し、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。 男女共同参画社会づくり推進委員会(庁内)及び男女共同参画社会づくり推進協議会(第三者)で事業評価を実施する。 令和3年度から7年度までを計画期間とする男女共同参画計画(第4次)を策定する。 					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	02	02	次期茂原市総合計画策定事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	09	次期茂原市総合計画策定事業

実施計画整理番号	
605020201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
H22年度に策定した茂原市総合計画後期基本計画の満了をH32年度末に迎える。H23年8月の地方自治法改正により、基本構想策定の義務付けがなくなったものの、茂原市まちづくり基本条例により、基本構想、基本計画及び実施計画を策定する必要がある。	本市が目指す理念に基づくあるべき将来像とそれを実現するための目標を明らかにし、計画的に施策を推進するため、茂原市総合計画を策定する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
令和元年度と令和2年度の2年をかけて新たな総合計画を策定するため、コンサルタントと連携しながら、 ・市民意識調査、市民ワークショップの開催により市民の意識や意見を取りまとめる。 ・策定の進捗に合わせ、各会議で内容について意見交換、審議を諮り、基本構想については素案を完成させる。	令和元年度と令和2年度の2年をかけて新たな総合計画を策定するため、 ・コンサルタントの選定 ・市民意識調査の実施 ・総合計画策定会議・幹事会、総合計画審議会の運営 ・市民ワークショップの開催

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	0	0	8,047	7,126	6,561	8,945	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	8,047	7,126	6,561	8,945	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	次期茂原市総合計画の策定	8,047	7,126	6,561	令和2年度中に策定する。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		8,047	7,126	6,561	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・公募型プロポーザルによりコンサルタントを選定。 ・茂原市総合計画策定のための市民アンケートを7月に実施 ・茂原市総合計画審議会をR1.12.20、R2.2.7、R2.3.24に3回開催(当初予定していたR1.10.25については大雨による災害発生により中止)。 ・茂原市総合計画策定ワークショップをR1.10.31、R1.11.25、R1.12.23に3回開催。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605020201
6	05	02	02	次期茂原市総合計画策定事業	2	01	09	09	次期茂原市総合計画策定事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査を実施する。 総合計画策定会議・幹事会、総合計画審議会の運営。 市民ワークショップの開催。 					<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査結果報告書の作成。 各会議で内容について意見交換、審議を諮り、基本構想については素案を完成させる。 市民ワークショップでの意見を取りまとめる。 					
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である	茂原市まちづくり条例第25条に総合計画の策定が謳われている。			A:有効である	総合計画は市の全ての計画の上位に位置する計画であり、市のまちづくりの方針を示すものである。			A:効率的である	コンサルタントに策定支援業務を委託している。	
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	市ウェブサイトへ、茂原市総合計画審議会の会議資料及び会議録を掲載している。			A:実現している	審議会には公募による市民に参加頂いている。また、市民アンケートや、市民向けのワークショップを実施。パブコメの実施予定あり。			A:実現している	審議会には学識者や関係機関の職員、公募による市民に参加頂き意見交換をしている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	災害や新型コロナウイルス感染拡大の影響により会議の中止や延期が生じたものの、令和2年度中の策定に向けて概ね当初のスケジュールどおりに進捗している。									
	企画政策課での評価とその理由										
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	社会的要因による遅れは生じたものの、概ね計画どおりに進捗していると認められる。引き続き、令和3年度以降の計画推進に寄与するため、令和2年度中の策定に努められたい。									
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											
A C T (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定					
	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度中に茂原市総合計画を策定。 					<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度中に茂原市総合計画を策定。 					
	令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度中に新たな総合計画を策定するため、コンサルタントと連携しながら、 基本構想を踏まえたうえで、各会議で内容について意見交換、審議を諮り、総合戦略と合わせて基本計画を策定する。 パブリックコメントを行うことで広く意見を募る。 					<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の2年中に新たな総合計画を策定するため、 総合計画策定会議・幹事会、総合計画審議会の運営。 パブリックコメントの実施。 議案の上程。 						

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	03	02	収税コールセンター業務

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	02	02	05	徴収事務運営費

実施計画整理番号	
605030201	
総合戦略 整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	歳入の根幹を成す市税等の徴収率向上及び累積滞納を未然に防止する。
	「納税コールセンター」を設置し、現年分の固定資産税、軽自動車税、市県民税(特別徴収含む)、国民健康保険税において督促状を発送しても納付の確認が出来ていない者に対し、電話連絡や文書により早期納付を促す。
	令和元年度の具体的な目標
	令和元年度スケジュール
	市税等の徴収率向上に向けて、引き続き電話による納付勧奨及び文書連絡を行う。
	平成31年4月より、継続して納税コールセンターを実施する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	5,134	4,369	6,098	5,917	5,201	6,152	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	5,134	4,369	6,098	5,917	5,201	6,152	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	納税コールセンター業務委託	6,098	5,917	5,201	成果を得られており、今後も継続していく。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		6,098	5,917	5,201	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・納付の確認ができていない者に対して、電話による納付の勧奨 ・電話にて連絡の取れない者に対して、文書による納付の勧奨

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	03	02	収税コールセンター業務

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	02	02	05	徴収事務運営費

整理番号
605030201

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	電話による納付勧奨及び文書連絡 ・電話件数(平日9,511件、休日646件) ・文書送付数(649件)		市税等の徴収率 ・現年分の国民健康保険税との合計徴収率が、前年度と比較して0.04%増加し97.93%で徴収率は向上した。			
	妥当性の評価とその理由 A:妥当である 電話による納付勧奨を民間事業者に委託することにより、職員が財産調査や差押えに専念し、徴収率の向上に繋がる。		有効性の評価とその理由 A:有効である 電話による納付勧奨を民間事業者に委託することにより、職員が財産調査や差押えに専念し、徴収率の向上に繋がる。		効率性の評価とその理由 A:効率的である 電話による納付勧奨を民間事業者に委託することにより、職員が財産調査や差押えに専念し、徴収率の向上に繋がる。	
	「情報の共有」の状況とその理由 C:実現の余地がない 個人情報であるため。		「参加」の状況とその理由 C:実現の余地がない 個人情報であるため。		「協働」の状況とその理由 C:実現の余地がない 個人情報であるため。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		災害のため、毎年11月に実施している市税収納対策強化月間は実施しなかった影響により、市税の現年分の徴収率が前年度と比較して0.04%下回り98.81%であったが、現年分の国民健康保険税との合計徴収率は、0.04%増加し97.93%となり、徴収率の向上に繋がった。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		徴収率の向上及び早期納付に成果があったと認められる。引き続き、納税の公平性を保つため、適正かつ効率的な業務遂行に努めていただきたい。			
	政策調整会議での評価とその理由					
	(この欄は斜線が入ります)					
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						
ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・電話による納付勧奨件数 ・文書送付件数		市税等の徴収率向上			
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール				
市税等の徴収率向上に向けて、引き続き電話による納付勧奨及び文書連絡を行う。		令和2年4月からも、継続して納税コールセンターを実施する。				

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	04	02	茂原市役所防災・減災・省エネルギー設備導入事業(カーボンマネジメント強化事業)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	08	01	庁舎維持管理費

実施計画整理番号	
605040201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	建設以来22年以上経過し老朽化している庁舎の長寿命化計画を策定する。また、令和2年度の事業として照明設備を省エネ機器に改修することで、省エネ化によるランニングコストの軽減と温室効果ガスの排出抑制を図るとともに、停電時における防災拠点としての機能を強化するために太陽光発電設備と蓄電池設備を整備する。	平成31年度に長寿命化計画策定、基本設計及び実施設計を実施。 令和2年度に工事を実施。 (環境省補助事業:二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金を活用。同事業は令和2年度までが期限。)
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
	庁舎長寿命化計画の策定 令和2年度に予定している庁舎設備改修工事の基本設計と実施設計により、庁舎の省エネ化と防災拠点としての機能強化を図るための計画及び詳細設計を策定する。	庁内協議: 通年 長寿命化計画策定: 令和元年8月2日～令和2年3月19日 基本設計: 令和元年7月12日～令和2年3月19日 実施設計: 令和2年1月9日～令和2年5月31日(繰越明許)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	0	0	14,850	19,450	10,320			
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	14,850	19,450	10,320	0	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	長寿命化計画策定・基本設計・実施設計	14,850	19,450	10,320	予定通り進捗しており、令和2年度の補助採択を目指す。
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					
事業費計			14,850	19,450	10,320	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画の策定 ・基本設計 ・実施設計 ・庁内協議

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605040201
6	05	04	02	茨城県庁舎防災・減災・省エネルギー設備導入事業(カーボンマネジメント強化事業)	2	01	08	01	庁舎維持管理費	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	長寿命化計画、基本設計を年度内、実施設計を繰越明許により5月末に完了し、目的達成のための計画、詳細設計を策定した。				令和2年度において補助事業の応募申請を予定しており、元年度は成果達成のための準備を進めた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	庁舎の省エネ化と防災機能強化のための計画、詳細設計を策定した。	A:有効である	当該補助事業を活用することで、財源を確保し目的を達成することができる。	A:効率的である	目的を達成するために、当該補助事業が財源面で有利である。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	その他	事業実施後の成果を市民等に情報発信していく予定である。	その他	補助申請の期限があり限られた時間の中で、庁舎設備の設計内容に市民等の意見を取り入れ、生かすことは困難である。	その他	補助申請の期限があり限られた時間の中で、庁舎設備の設計に関して市民等と協働し推進していくことは困難である。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	目的達成に向けては、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金を活用することが、本事業の目的に合致し、かつ財源面で有利である。そのために必要な基本設計及び実施設計を策定し、補助採択を受けての事業実現に向けて十分な準備をすることができた。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	長寿命化計画を策定したことから一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、計画的な事業実施に向けて準備し、庁舎の省エネ化及び防災機能強化につながるよう努めていただきたい。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定				令和2年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器照明への変更本数: 573台 ・太陽光発電設備新設: 72枚(計21.1kw) ・蓄電池システム新設: 2台(計44.8kw) 				年間CO2排出削減量: 69t			
令和2年度における具体的な目標				令和2年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・補助採択を受けること。 ・交付決定を受けること。 ・確実に契約を締結し、工期内で適切に工事を完了させる。 ・工事作業の庁舎業務への影響を最低限に抑える。 ・補助金の規程に沿って事業を完了し、補助金の交付を受ける。 				<ul style="list-style-type: none"> ・応募申請(5月下旬) ・補助採択(6月下旬) ・交付申請(7月下旬) ・交付決定(8月下旬) ・工事契約(9月上旬) ・工事実施(9月上旬～1月中旬) ・工事費支払(1月下旬) ・補助事業完了実績報告(2月上旬) ・補助金交付(3月下旬) 				

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略

実施計画整理番号	
605050303	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) H27年に策定した茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象年度がH31年度までであり、H32年度において効果測定をする必要がある。	活動内容(目的を達成するために何をを行うか) ・推進委員報償費及び食糧費 ・PDCAサイクルを適正に実現するためのKPI(重要業績評価指標)を測定するために、調査・アンケート等を実施する。
令和元年度の具体的な目標 各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指標)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。	令和元年度スケジュール R1.7月 ・総合戦略策定会議幹事会 ・総合戦略策定会議 R1.8月 ・総合戦略推進会議 ・第3回定例会議員全員協議会での検証

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	71	70	38	71	71	38	62	62	38	2,395	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	71	70	38	71	71	38	62	62	38	2,395	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市まち・ひと・しごと総合戦略等の効果検証	62	62	38	各事業が順調に取り組まれている。来年度は計画期間を総括する評価を実施する。
②	効果検証のための調査	0	0	0	
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		62	62	38	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 下記会議を開催し効果検証を行い、総合戦略の見直しを行った
- ・総合戦略策定会議幹事会での効果検証実施(H30.8)
 - ・総合戦略策定会議での効果検証実施(H30.8)
 - ・総合戦略推進会議での効果検証実施(H30.8)
 - ・第3回定例会議員全員協議会での効果検証実施(H30.8)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050303
6	05	05	03	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	2	01	09	06	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定会議設置要領」及び「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要領」に基づき、策定会議幹事会、策定会議、推進会議を開催した。また、H30年第3回定例会議員全員協議会に効果検証及び見直しを依頼し、出席した。					PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し見直しを行った、施策・事業数：1事業(地域ぐるみの産業活性化事業)、まち・ひと・しごと創生本部HPIにて公表。				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 事業実施に伴う効果検証について、国へ報告する必要があるため、自治体を実施すべき事業である。		A:有効である PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を実施し、施策・事業の見直しを行うため、有効である。		A:効率的である 推進委員の報償費及び食料費のため、将来的に大幅な費用の増減はない。					
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している 会議の公表及び市公式ウェブサイトを通してインターネット上で評価結果を公表している。		A:実現している 総合戦略推進会議の中で市民の意見等を聴取している。		A:実現している 外部有識者で構成する検証組織は、産業・行政・教育・金融・労働・市民で構成している。					
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		各事業に対する効果検証を行い、その評価に基づいて必要な見直し等を行っている。							
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		PDCAサイクルに基づき、事業評価の効果検証を実施し、見直しを行っているため当初の目標を達成していると認められる。今後も事業の必要性等を勘案し、目標の達成を目指すものとする。							
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	策定会議幹事会、策定会議、推進会議の開催及び議会での検証。					目標を達成した事業数。 PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し、施策・事業の見直しを行う。 次期総合計画との統合に向けた計画期間の延長を行う。				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
R1.7月 ・総合戦略策定会議幹事会 ・総合戦略策定会議 R1.8月 ・総合戦略推進会議 ・第3回定例会議員全員協議会での検証					各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指標)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	04	協働のまちづくり推進事業

実施計画整理番号	
605050304	
総合戦略整理番号	41101

事務事業の概要	
PLAN (計画)	<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>市民や市民活動団体が地域の課題を主体的に解決しようとする機運の醸成を図る。</p>
	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>市内でまちづくりを行う団体を市民活動団体として認定し、支援を行う。また、地域まちづくり協議会に対して支援を行うとともに、市民活動団体の自発的な課題解決を促進するため、協働事業提案制度を運用する。</p>
	<p>令和元年度の具体的な目標</p> <p>・市民活動団体の認定数 延べ25団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体 ・協働提案事業の実施回数 2回</p>
	<p>令和元年度スケジュール</p> <p>4月 市民活動団体補助金交付団体の募集 7月 協働提案事業の募集 8月 協働提案事業の審査・採択 10月 地域まちづくり協議会設立支援講座の開催 13月 協働のまちづくり推進懇話会の開催</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	1,055	1,055	945	988	1,002	894	1,362	1,362	1,196	1,263	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	1	1	48	0	0	0
	一般財源	千円	1,055	1,055	945	988	1,002	894	1,361	1,361	1,148	1,263	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	協働事業提案サポート講座の開催	0	0	0	隔年開催のため、令和元年度は実施しなかった。今後も継続する。
②	協働のまちづくり推進懇話会・協働のまちづくり推進庁内委員会の運営	116	116	51	協働のまちづくり推進懇話会を設置し、会議を1回開催した。今後も継続する。
③	協働事業提案制度(団体提案型・行政提案型)の運営	200	200	200	2団体から提案を受け付け、2事業を採択して実施した。今後も継続する。
④	市民活動支援制度の運営	300	300	300	3団体に対して市民活動団体補助金を交付した。今後も継続する。
⑤	地域まちづくり協議会の設立・運営支援	366	366	300	3地区の地域まちづくり協議会を認定し、補助金を交付した。設立支援講座については災害及び感染症予防のため中止した。今後も継続する。
⑥	市民活動支援センターの設置・運営	380	380	345	市民活動支援センターの備品等を整備し運用した。今後も継続する。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,362	1,362	1,196	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定 26団体(令和元年度末現在) ・市民活動団体交流会 13回(うち1回は災害のため中止、1回は感染症予防のため中止) ・地域まちづくり協議会の認定 3団体(令和元年度末現在) ・地域まちづくり協議会設立支援講座 令和元年11月18日→災害のため延期 令和2年3月19日→感染症予防のため中止 ・協働提案事業 2事業を採択 	

PLAN (計画)

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	04	協働のまちづくり推進事業

整理番号
605050304

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体交流会の開催回数 13回(うち2回は中止) ・市民活動フェスタの開催回数 1回 ・地域まちづくり協議会設立支援講座の開催回数 0回(中止) 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 26団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 3団体 ・協働提案事業の実施回数 2事業 ・市民活動フェスタの参加人数 約80名 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	まちづくり条例に基づく協働のまちづくりの推進は、市が関与すべき事業である。	A:有効である	より良いまちづくりのためには、協働のまちづくりの推進が必要である。	A:効率的である	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めた。継続していく必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と情報を共有しながら、施策を推進している。	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の参加を得ながら、施策を推進している。	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と目的を共有し、適切に役割を分担している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めた。一部の事業については、災害及び感染症予防のため中止となった。感染症予防と市民活動の両立が今後の課題となっている。					
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組の実施により前年度以上の目標を達成し、ひいては協働のまちづくりの推進につながったと認められる。引き続き、各種取組の適切な執行に努めるとともに感染症予防と市民活動の両立について図っていただきたい。					
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体交流会の開催回数 ・協働提案事業サポート講座の開催回数 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 ・地域まちづくり協議会の認定数 ・協働提案事業の実施回数 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 延べ30団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体 ・協働提案事業の実施回数 1回 		<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体補助金交付団体の募集(4月) 協働提案事業の募集(7月) 協働提案事業の審査・採択(8月) 協働提案事業サポート講座の開催(10月) 協働のまちづくり推進懇話会の開催(9月・3月) 		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	02	マスコットキャラクターPR事業

実施計画整理番号	
605050401	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) マスコットキャラクター「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図る。	活動内容(目的を達成するために何をを行うか) ・キャラクターグッズの販売により子どもたちへの浸透を図る。 ・本市の認知向上のためイベントに参加する。 ・着ぐるみの利用促進。
令和元年度の具体的な目標 「モバリん会議」で考案した新デザインを、モバリんグッズ等に活用し、モバリんの更なる認知度や売り上げの向上を図る。	令和元年度スケジュール ・市職員で構成する団体の会議を定期的開催する。 ・新モバリんデザイン考案 ・新モバリんグッズ作製、販売

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	939	939	935	939	534	416	502	502	443	504	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	689	689	0	689	534	255	248	248	210	248	0	0
	一般財源	千円	250	250	935	250	0	161	254	254	233	256	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	マスコットキャラクターのプロモーション	294	294	292	新たなモバリんデザインを作製し、幅広く活用した。今後も継続していく。
②	イベント等への参加によるPR活動	172	172	137	七夕まつり、冬の七夕まつり等に出演し、PRを実施した。今後も継続していく。
③	市民・企業活動の場での着ぐるみの利用促進	36	36	14	市民や企業等に貸出しを実施している。今後も継続していく。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		502	502	443	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・ちばテレビ出演4本、商業施設及び市内イベント等に出演し、モバリんの認知度向上を図った。
- ・桜まつり、七夕まつり、幕張メッセでの観光PRイベントにおいて、モバリんグッズの販売を行った。
- ・市職員で構成される「モバリん会議」において、新モバリんデザイン、新モバリんグッズを考案、販売した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050401
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業	6	01	03	02	マスコットキャラクターPR事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	PR活動については、市内運動会2件、千葉テレビ出演2本、市内外観光イベント6件、幕張メッセ観光PRイベント1件、JR成田駅観光委PRイベント1件、海ほたるパーキングエリア観光PRイベント1件など数々のイベントに出演した。					メディア出演については、千葉テレビに2回出演した。グッズ売り上げ数は、キーホルダー112個、ネックホルダー95個、スライドミラー286個、ハンドタオル28枚、ミニタオル100枚、プラコップ24個、ピンバッジ15個、CD1枚で、195,816円販売した。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である 市独自のマスコットキャラクターのメディア等への露出やグッズ作製は、シティープロモーションにつながり、妥当である。		B:やや有効である 市の魅力発信のためには有効なツールではあるが、多くの自治体でも実施されているため、活用方法を検討する必要がある。			A:効率的である キャラクターデザインが市民や企業に幅広く利用されており、効率的である。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している 市ウェブサイトや市発行の各種パンフレットに活用されている。		A:実現している 市民や企業に利用を促すとともに、市職員で構成する団体やモバリんグッズ取扱店からの意見を取り入れている。			A:実現している 市民や企業に利用を促すとともに、市職員で構成する団体やモバリんグッズ取扱店からの意見を取り入れている。				
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		着ぐるみの貸出が多く、維持管理に支障が出ている状況である。また、キャラクターグッズについては、多くの自治体と同様の商品販売しているため、他自治体にはない商品の開発、差別化を図る必要がある。								
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		郷土愛の醸成と本市の知名度向上に一定の成果を挙げていると認めることができる。引き続き、活用を推進するため着ぐるみの維持管理に努めるとともに、市民等との協働による新たなグッズの発掘などに努めていただきたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
(この欄は斜線が入ります)										
庁議における方針										
(この欄は斜線が入ります)										

A C T (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内でのイベント貸出回数 ・各種PRイベント参加回数 					<ul style="list-style-type: none"> ・グッズ売上販売数 ・メディア露出回数 				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・市職員で構成する団体の会議を定期的開催。 ・新モバリんデザイン考案。 ・新モバリんグッズ作製、販売。 					<ul style="list-style-type: none"> ・「モバリん会議」で考案した新デザインをグッズ等に活用したモバリんの更なる認知度向上や売り上げの増進。 					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	05	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

実施計画整理番号	
605050402	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 本市ふるさと納税制度の推進、及び記念品の提供を通じた本市産品等の県内外への魅力発信並びに地域産業の振興を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・記念品の開発・発送にかかる業務を専門業者に委託し、記念品の充実及びインターネット等により情報発信を促進する。 ・また、寄附者の利便性向上のため、「ふるさとチョイス」からの寄附申込受付及びクレジットカード決済利用を継続する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
年間を通じて、 ・「ふるさとチョイス」への掲載、寄附の受付 ・記念品の拡充及び寄附金の増加	・記念品を拡充する(3種類) ・事業者説明会の開催 ・「ふるさとチョイス」の利用により、本市ふるさと納税の周知や寄附者の利便性の向上を図るため、寄附方法の多様化等を検討する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	22,522	22,522	13,150	22,565	22,950	22,281	17,572	20,864	20,704	17,573	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	22,522	22,522	13,150	22,565	22,950	22,281	17,572	20,864	20,704	17,573	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	記念品の拡充	0	0	0	
②	本市ふるさと納税記念品の開発及び発送等に係る事務の一部委託	16,900	19,812	19,652	令和元年度寄附件数:1,605件 令和元年度寄附金額:51,310,000円
③	「ふるさとチョイス」からの寄附申込受付及びクレジットカード決済の利用	672	1,052	1,052	「ふるさとチョイス」を利用した件数1,558件 クレジットカード決済を利用した件数:1,215件 マルチペイメントを利用した件数:343件
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		17,572	20,864	20,704	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・寄附者の利便性向上のため、令和2年1月より決済方法に「Paypal」を追加した。
- ・記念品の開発及び拡充に努め、5事業者、11品目を新たに追加した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050402
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進事業	2	01	09	05	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・新たに11品目の記念品を追加した。				令和元年度の寄附件数(記念品対象分): 1,605件…① ①のうち「ふるさとチョイス」を利用した件数: 1,558件…② ②のうちクレジットカード決済を利用した件数: 1,215件 ②のうちマルチペイメントを利用した件数: 343件 令和元年度寄附金額(記念品対象分): 51,310,000円			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A: 妥当である 寄付者の利便性を向上させるとともに、広く周知を図ること、さらには歳入の確保等、市の事業として妥当である。		A: 有効である 記念品の贈呈はふるさと納税の推進、また地場産業の振興等の副次的効果もあり、有効である。		B: やや効率的である 発注等の事務の外部委託が一部の返礼品のみに留まっているため、全てを委託することや、データ管理システムの導入を検討する余地はある。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A: 実現している ウェブサイト等においてふるさと納税制度について周知している他、ポータルサイトを利用し返礼品等を掲載している。		A: 実現している 寄附金の用途を選択できることにより、寄附者に参加の機会を提供している。		A: 実現している 記念品を市内業者から調達している。また、提供事業者もCSRや市の発展への寄与の意識を持って臨む事業者も多い。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		寄附件数、寄附金額ともに昨年度より減少しているが(寄附件数: 昨年度比-13人、寄附金額: -1,512,105円)、水害があったことで返礼品を希望しない寄附や災害支援の寄附が増加したことが要因であり、ふるさと納税全体の寄附額は増加していることから、ふるさと納税の推進を図れたと考える。						
企画政策課での評価とその理由								
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		記念品の拡充や、決済方法拡充等による利便性向上の取り組みにより、当初目標は下回ったものの、ふるさと納税全体の寄附額は増加している。引き続き、寄附者及び寄附金の増加に資する取り組みを図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定				令和2年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・新規記念品の発掘 5品目				・令和2年度の寄附件数(記念品対象分): 1,500件 ・令和2年度の寄附金額(記念品対象分): 60,000,000円			
令和2年度における具体的な目標				令和2年度における事務事業スケジュール				
年間を通じて、 ・「ふるさとチョイス」への掲載、寄附の受付 ・記念品の拡充及び寄附金の増加				・記念品を拡充する ・事業者説明会の開催 ・「ふるさとチョイス」の利用により、本市ふるさと納税の周知や寄附者の利便性の向上を図るため、寄附方法の多様化等を検討する。				

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	シティプロモーション事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業

実施計画整理番号	
605050403	
総合戦略整理番号	32301

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 人口減少や高齢化が急速に進み、ひとや地域のつながりが希薄化し、市の活力が大きく損なわれることが懸念される。そこで、選ばれるまちとしての魅力を戦略的にアピールをし、市の認知度を高め、交流人口・定住人口の増加を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) シティプロモーションの基本方針について市民等と検討し、地域の持つ資源を再認識し、統一感や一体感のあるイメージや魅力を明確にした共感できるコンセプトによる情報発信力を強化する。 また、市長が「茂原市の顔」としてトップセールスを担い、あらゆる機会を捉えてシティプロモーションを実行する。
令和元年度の具体的な目標 ・市民自らが地域の魅力を発見し、発信することにより、地域情報の流通促進、コミュニケーションの増加による魅力の向上や活性化を図る。 ・茂原市シティプロモーション基本方針に基いた本市の魅力を分かりやすくPRする。 ・千葉もばらロケーションサービスを通じたロケツーリズムの推進	令和元年度スケジュール ・SNSを活用した情報発信 ・千葉もばらロケーションサービスの開催 ・映画やテレビドラマ等の撮影支援 ・ロケツーリズムに関する啓発活動

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	5,498	5,490	5,476	3,085	14,021	13,946	12,806	12,806	12,761	10,037	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	4,500	4,500	6,350	6,350	6,315	5,000	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	2,000	2,000	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,498	5,490	5,476	3,085	7,521	7,446	6,456	6,456	6,446	5,037	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域資源を活用したシティプロモーションの推進	12,806	12,806	12,761	ロケツーリズムを通じて大きな成果を上げてきた。引き続き推進するとともに、課題である市民を巻き込んだ活動を検討していく。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
事業費計		12,806	12,806	12,761	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
・千葉もばらロケーションサービス(総会、シンポジウム、セミナー、ロケツーリズム協議会、第5回ふるさと甲子園、ロケツーリズムアワード、サポーターズ会議) ・ロケ地情報誌「ロケーションジャパン」広告掲載 ・ロケ地マップ作成 5,000部 ・撮影支援活動(問い合わせ323件、決定45件) ・ご当地グルメ開発(試食会、アンケート調査等)	

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050403
6	05	05	04	シティプロモーション事業	2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業	

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・千葉もばらロケーションサービス関連(総会1回25人、シンポジウム2回①4/17:50人・②2/6:52人、セミナー①7/3:50人・②9/27:22人・③12/18:20人、ロケツーリズム協議会5回18人、第5回ふるさと甲子園1回31人・葱ッペ餃子第1位・行きたいまち第4位、ロケツーリズムアワード1回3人・LTC団体認定・LTCロケエディター認定、サポーターズ会議4回82人) ・ロケ地情報誌「ロケーションジャパン」広告掲載6月号、8月号、10月号	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 情報発信によるアクションを起こした人の数 ・千葉もばらロケーションサービス公式facebookのフォロワー数422人 いいね758件、リーチ数(記事を見た人)28,990件 関連事業の参加者数の総数 ・セミナー、シンポジウム等 総数353人 ・エキストラ・ロケ弁・ロケ地登録者 総数33件
--	---

妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由
A:妥当である 総合戦略における事業であり、地域の活性化のためには、まちの魅力を活かし、発信するシティプロモーション事業を進める必要がある。	A:有効である ブランドを確立し、地域内情報の流通を促進し、市民の参画や推奨、域内消費の喚起による賑わい創出・誇りの醸成を目指すため。	A:効率的である 基本方針の各施策の成果指標を総合戦略のKPIと関連づけて設定し、効率的に事業が進められるため。

「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由
A:実現している ロケ地マップやPR動画、またロケツーリズムの推進により、WEBやマスコミなど、茂原市の情報を広範囲で共有する機会が増えた。	A:実現している 撮影支援を通じた市民参加、千葉もばらロケーションサービスの下部組織であるもばロケ☆ネギらい隊の設立により多くの意見聴取の機会をつかった。	A:実現している 市民を巻き込んだ協働の機会をつかったことで、内部における意見交流や対外的なPRもすることができた。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市シティプロモーション基本方針に基づき、千葉もばらロケーションサービスの活動である映画やドラマ等の撮影支援を通じて、市民を巻き込んだ体制を推進することで、市民自らが動く機会をつかった。また、情報発信のためにパンフレットやPR動画を作成することで、全国に向けて茂原市を発信した。今後も引き続き、ロケツーリズムを通じて、茂原市の地元愛の醸成や情報発信に努め、この取り組みを更に推進する。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	計画どおりに取組を進めており、茂原市の魅力をアピールし認知度の向上に一定の効果があったと認められる。引き続き、市民と一丸となった事業展開や積極的な情報発信を図ることで、市民の郷土愛の醸成を図るとともに、より一層の本市の認知度向上を図りひいては移住・定住の促進につながるよう努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
・映画やテレビドラマ等の撮影支援 ・千葉もばらロケーションサービスの推進 ・ご当地グルメの研究 ・SNSを利用した情報発信	・映画やテレビドラマ等の撮影支援による市民意識の醸成(エキストラ、ロケ弁、ロケ地登録者数) ・千葉もばらロケーションサービス公式facebookのフォロワー数、いいね数、リーチ数

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
・千葉もばらロケーションサービスを通じたロケツーリズムの推進によるシティプロモーションの浸透	・SNSを活用した情報発信 ・千葉もばらロケーションサービスの開催 ・映画やテレビドラマ等の撮影支援 ・ロケツーリズムに関する啓発活動

CHECK (評価)

A C T (改善)